来賓あいさつ

大永副知事

副知事の大永でございます。富山地域合併協議会が設立されました。本日第1回の協議会が開かれまして、そしていよいよ合併に向けて協議が進められます事を心からお喜び申し上げます。中沖知事の祝辞を預かってまいりましたので、読まさせていただきます。

春爛漫の素晴らしい季節を迎えておりますが、本日ご来賓や関係の皆様も出席のもと、第1回富山地域合併協議会が開催されますことを心からお祝い申し上げます。また皆様方には日頃から地域の活性化や、県政の推進に格別のご支援、ご尽力をいただいております、心から感謝いたしあげる次第であります。

さて、本格的な地方分権の時代を迎え、住民に最も身近な行政主体である市町村は自己決定と自己責任の原則の下、個性的で魅力溢れる地域づくりを進めると共に、行財政基盤の充実強化と効率的な行政運営に努めていかなければなりません。このため市町村合併が極めて有効な手法の一つであると考えております。こうした中、富山上婦負地域では、去る4月1日、関係市町村の総意により法定合併協議会が発足されました。今後この合併協議会の将来のまちづくりの方向性を示す市町村建設計画の策定を始め、行財政の効率化や、行政サービスの調整など、より具体的な協議が行われることとなります。申し上げるまでもなく、市町村合併は地域の在り方そのものに係わる重要な問題であります。そして、何よりも住民の意思を踏まえることが根本であります。また、固有の歴史と個性を持ったそれぞれの市町村が、新しく一つの自治体として発足するためには、多くの問題を解決しなければなりません。どうか皆様方には住民の皆さんの意向を充分反映しながら、お互いの特徴を最大限に生かした地域づくりを進められますようお願い申し上げます。

市町村合併特例法の期限が平成16年度末に迫っております。残された時間は決して多くはありませんが、皆様方には是非ともこの合併を成功に導いていただき、合併後の新しい市が本県の中心都市として、より一層発展されますことを期待いたしております。県としましては、今後共、富山県市町村合併支援方針に基づきまして、皆様方の取り組みを積極的に支援してまいりたいと考えておりますので、一層のご尽力をお願い申し上げます。終わりになりますが、本日ご列席の皆様方の益々のご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。平成15年4月11日富山県知事中沖豊。以上でございます。

川原議員

本日第1回の富山地域合併協議会を開催されたことを心よりお祝い申し上げます。ご案内のとおり、只今県議会議員の選挙期間中でございます。私と坂田委員とが出席させていただきました。坂田議員のお許しをいただきまして、一言ご挨拶申し上げます。

富山地域合併協議会につきましては、これまで各市町村議会において、いろいろ議論をされてこられました。そしてこの度、関係市町村の議決を経て、この4月1日に設立をいたしたわけでありまして、今後は新しい市の建設計画策定や、また合併に関する様々な協議

そして調整等を行って平成 17 年の 3 月の合併特例法適用期限内での合併を目指して、鋭意努力を図っていかねばならないわけであります。

ことに、富山地区広域圏エリアは広範な地域として、また環日本海地域における求心力ある中核的な県域として大同団結し、魅力あるそして力のある都市として成長していかなければならないということが言われております。こうしたことを踏まえて、今後精力的に協議会が進められていきますことをお願い申し上げ、またお祝いの挨拶にさせていただきます。

坂田議員

本日は第 1 回富山地域合併協議会がこのように多数の委員の皆様と関係各位のご尽力の下に、盛大に開催されますことをまずもって心からお祝いを申し上げる次第でございます。私も県議会本当は富山市の県議にも来ていただきたかったのですが、選挙中ということで、私自身は 4 日の日になんとか終わりましたものですから、今日ここに参加させていただいたわけでございます。

この合併、何故私は始め富山市とかなという思いをしていたわけですが、やはり神通川という神の通る川を中心にした、上流から、いわゆる川上から川下までが一体的な行政をやっていかなければならないという時代になってきているんじゃないか、こんな時にちょうど上婦負と、そして山田村が 6 月半ばと聞いていますが、富山市が一緒になろうということで、今日の第 1 回のここでの協議会になったかこのように思っているところでございます。

議会の立場として、選挙中にもやっぱりまず始めにどうしても山間地を抱えている地域の方では過疎化の問題とかいろんなことが議題になったわけですが、森市長さんが始めにおっしゃったのは、「政令指定市並みの区に順ずる権限を各市町村に与えようじゃないか」とこんな話も聞いてまして、私やはり地域に根ざした伝統ある芸能とかそういうものもやはり残していかなければならないとこんな思いをしているところでもございます。そしてまたこの合併、当初の 50 万都市から常願寺川水系がちょっと脱落と申しますか、なっておるわけですが、どうかひとつ、途中からでも参加できるように市長さん始め役員の方をお願いを申し上げたいと思っております。そのためには、やはり日本海の金沢を抜いて、一大都市になってもらいたいなという思いがあるわけでございます。

それともう 1 点はどうかひとつ各地域の合併の協議会の中で、市町村建設計画等の主要の問題についても各市町村の総合計画をやっぱり尊重して、均衡ある計画にやっていただきたいことをお願い申し上げ、最後に合併がやはり急激な変化じゃなくて、スムーズな変化でやっていただきたいと、いわゆるソフトランディングするようなそんな合併にさせていただいたという思いを込め、どうかこの協議会が今後益々ご発展され、そしてまた本日もご参会の皆様方がご健勝であられますこともあわせて祈念申し上げまして一言挨拶に替えさせていただきます。どうもありがとうございました。